

# 本の紹介



BEST SHINSHO

鄭雄一

Terayama Shunji

## 東大理系教授が考える 道徳のメカニズム

東大理系教授が考える 道徳のメカニズム 鄭雄一



9784584123997

ISBN978-4-584-12399-7

C0212 ¥800E



1920212008009

定価：本体800円+税

鄭雄一(ていゆういち)

東京大学大学院工学系研究科教授  
(医学系研究科兼任)。医学博士。  
1964年東京都生まれ。東京大学  
医学部医学科卒業、東京大学大学院  
医学系研究科修了。東京大学医学  
部、米国マサチューセッツ総合病院、  
ハーバード大学医学部等を経て現職。  
専門は、発生・進化生物学、再生医  
学及びバイオマテリアル工学。骨軟骨  
の発生、進化、再生に関する分子細胞  
生物学的研究と、バイオマテリアルの  
材料工学的研究を融合して、組織再  
生を実現する人工デバイスの開発に  
取り組んでいる。著書に「骨博士が教  
える「老いない体」のつくり方」  
(WAC)などがある。

なぜ悪いことを  
してはいけないの？  
に、どう答えますか？

哲学者・思想家たちが解明できない問いに、  
理系的視点で挑む！

ベスト新書

KKベストセラーズ 定価◎本体800円+税

## 東大理系パパが試みる 善悪に関する思考の実験

- 第一章 (問題提起) 道徳の現状を分析する
- 第二章 (先行研究) 過去の道徳思想を解析する
- 第三章 (モデル構築) 道徳の基本原則をモデル化する
- 第四章 (応用展開1) 道徳は動物にもあるのか
- 第五章 (応用展開2) 道徳とことばの関係性
- 第六章 (シミュレーションと予測) 私たちはどう生きるべきか

ベスト新書

399

# 人道支援や平和に関する矛盾？

- 人の命は何よりも尊い vs 大量無差別殺人犯は死刑にするべき
- 平和のために戦争放棄 vs 侵略を防ぐためには戦争は不可避
- 昔から鯨を捕って食べて生きてきた vs 捕鯨などという野蛮なことは禁止すべき
- 等々

# 先人たちの道徳観

- 「人間には理想の道徳がある」派
  - キリスト
  - 仏陀
  - アリストテレス
  - 孔子
- 「道徳は個人個人が決めるもの」派
  - 韓非子
  - マキャベリ
  - デカルト
  - ニーチェ

## 道徳の本音

||

「仲間らしくしなさい」という掟

二つの要素から成り立ち、  
それを区別することが大事

1. 仲間に危害を加えない(絶対的)
2. 仲間と同じように考え行動する(相対的)

# なぜ人間だけに道徳があるのか？

- 人間のことばには特別な力がある
  - 三人称：伝え手と受け手を離れた第三者について表現できる
  - 時制：現在以外の時間を扱える
- 人間は、遠く隔てた時空に存在する第三者の情報を伝達・処理できる

# ことばにより人間の社会は巨大化した

- ことばに基づくバーチャルな出会いの機能
  - 宗教・国家・民族など，巨大な社会は人間特有（社会性昆虫の社会はクローンなので社会ではなく個体に相当する）
  - 過去に会ったこともなく今後も実際には会わない赤の他人の間で「仲間であるという気持ちを作り出す」とことと、「仲間らしさを評価して，協力と分業を促進する」ことが可能になる
- 以上が本書の主旨。この視点を踏まえて国際的人道支援のrationaleを考えると，難民など不幸な境遇にある人に対して，同じ人間という仲間であるという意識をもって共感し，危害を加えられている状態から助け出すことが道徳的に自然だからと言える？